

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 1 月 12 日作成)

小委員会名	土地利用計画小委員会	主 査 名：浦山益郎 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：小林英嗣
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国および欧米の都市マスタープラン改訂に係る将来都市構造図などの分析を通じて、非成長時代に期待されるアーバンフォームを検討する。 ・都市計画区域外を含めた地域全域の土地利用管理する手法として、景観法など関連制度の可能性を探る。 ・集約的土地利用を実現するための手法や事例を収集、分析する。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：浦山益郎 (三重大) 幹事：飯田直彦、姥浦道生 (東北大) 委員：明石達生 (国土交通省)、岡井有佳 (東京大学)、岡辺重雄 (福山市大) 勝又済 (国土交通省)、川上光彦 (金沢大)、川崎興太 (福島大) 小浦久子 (大阪大)、中出文平 (長岡技術大)、松川寿也 (長岡技術大) 山口邦雄 (秋田県立大)、吉中美保子 (J R 西日本) 和多治 (横浜国大)	
設置 WG (WG 名：目的)	地方都市の都市形成WG： 地方都市を対象に、非成長時代における都市構造 (アーバンフォーム) およびまちなか再生など集約型の都市づくりのあり方を検討する。	
2011 年度予算	245,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. 大会 PD「スマートシュリンクと空間管理—人口減少時代のアーバンフォームとマネジメント3」実施・資料作成
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 非成長時代に期待されるアーバンフォームおよび土地利用計画のマネジメントについて、研究成果を大会の PD および OS で報告討論した。 2. 名取市や石巻市における東日本大震災を見学し、市役所担当者や市民等と討論し、復興土地利用計画の課題について討論した。 3. 東日本大震災および復興土地利用計画について委員から報告し、非成長時代の土地利用計画の課題について討論した。 以上のことから本年度の活動計画はおおむね達成できたと評価する。
委員会活動の問題点・課題	1. 集約的土地利用を実現するための手法や事例を収集、分析に注力する他、委員自らが手法や事例の試行や実践に努め、OS 等を通じて発信と意見交換をする。